

浅間山噴火を想定したロールプレイング方式防災訓練実施報告

日時 平成26年2月3日（月）14：00～16：00

場所 利根川水系砂防事務所

参加機関 39機関 利根川水系砂防事務所、長野国道事務所、群馬県、長野県、嬭恋村、長野原町、佐久市、小諸市、御代田町、軽井沢町、気象庁、自衛隊、警察、消防など

参加者 110名以上（訓練参加者95名+見学者）

主催 浅間山火山防災協議会・利根川水系砂防事務所

実施目的

浅間山噴火時の防災対応を円滑かつ効果的に実施するためには、平常時からの防災訓練が重要になります。

このため、浅間山周辺の自治体及び防災関係機関等から構成される浅間山火山防災協議会では、浅間山噴火時の防災対応の確認と関係機関の情報共有の実践を目的としたロールプレイング方式の防災訓練を実施しました。

本訓練は平成19年度から実施され、今回が7回目になります。

防災訓練のシナリオ

①訓練実施前の状況

●訓練前提条件

2月2日 小規模な噴火発生 山麓に降灰
噴火警戒レベル3

2月3日 積雪深 車坂峠 47cm
天候 晴れ 気温-3℃ 予想最高気温 2℃
風 西風3.2m/s（気象庁 田代観測所）

②訓練開始

●14時00分 中規模噴火発生 浅間山火山ルートに噴石

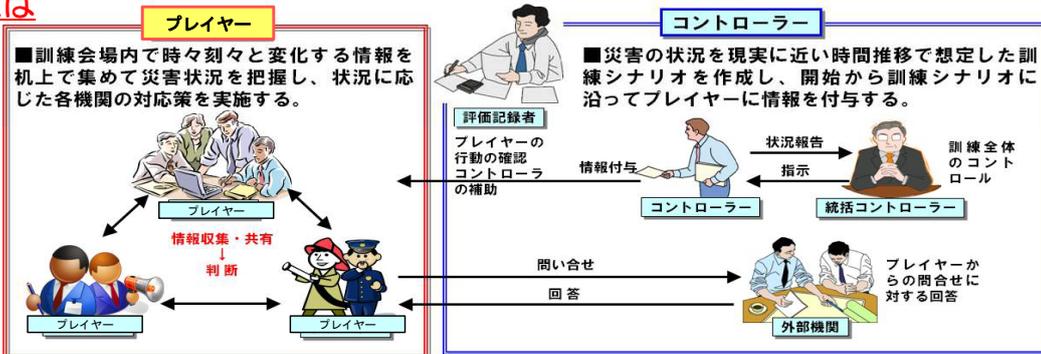
●14時30分 中規模噴火発生 火砕流発生
噴火警戒レベル5

●15時00分 融雪型火山泥流被害の確認

ロールプレイング方式訓練とは

防災訓練には実働型と図上型があり、ロールプレイング方式防災訓練は図上型です。

机上で情報を集めて、災害状況を疑似体験し災害対策の一員として、どのように対応していくかを習得するための訓練です。（疑似体験訓練法）



プレイヤー訓練全景



コントローラー訓練全景



参加機関の各プレイヤー訓練状況

神野忠広事務所長による講評



噴火はシナリオ通りにはならない。訓練の成果、反省点を生かしながら臨機応変に対応する必要がある。